

情報配線規格の最新動向 —規格と現場環境の相違点を技術的に解説—

- 主 催：情報配線システム標準化専門委員会
- 担当部署：インダストリ・システム部
- 参加者数：約65名

概 要

国際規格ISO/IECでは、情報配線の更なる高速化に対応すべく、構内情報配線システムISO/IEC 11801 2nd ed.の改正作業が行われ、Amendment 1が2008年に、Amendment 2が2010年に発行されました。また、光情報配線試験方法に対する国際規格ISO/IEC 14763-3が2006年に制定され、Amendment 1が2009年に発行されました。両規格

とも、Corrigendum 1が2010年中に配布予定となっております。

今回のセミナーでは、これらの規格について、国際会議（ISO/IEC JTC 1/SC 25/WG3）で審議されている内容の紹介だけでなく、実際に実証実験によって確認できた事項及び新しい規格に基づいた配線を構築する際の注意事項についても解説を行いました。

プログラム

○開会の挨拶とJEITA（IGCS）の取り組み

IGCS委員長 福田 純 氏

○JIS X 5150改正項目の解説

IGCS/JIS原案作成G 別府正寿 氏

○「光コネクタクリーニング試験」「マルチモードファイバの励振条件に関する実験」

光情報配線システム標準化G

○「JIS 光配線試験法（発行予定）の解説」

IGCS/JIS原案作成G 林 武弘 氏

○「光コネクタクリーニング試験」「マルチモードファイバの励振条件に関する実験」

光情報配線システム標準化G

○「情報配線マーケット動向」

マーケティングG 上村郁應 氏

○「ツイストペア配線 最新規格動向と関連情報」

ツイストペア情報配線システム標準化G 浅香芳晴 氏

○閉会の挨拶

IGCS委員長 福田 純 氏

